

合格者インタビュー

当会が埼玉大学内で開催させていただいております公認会計士制度説明会にあたり、ご尽力をいただいております澤井康毅先生のゼミに所属されている学生が、令和7年度公認会計士試験に合格されました。今回見事合格された大峯陸人さんにインタビューをする機会をいただきました。



おおみね りくと
大峯 陸人さん

合格時 埼玉大学経済学部4年

合格おめでとうございます。合格した時のお気持ちはいかがでしたでしょうか？

ありがとうございます。私は2回目の論文式試験での合格でしたので、1回目の雪辱を果たすことができ嬉しかったです。また、就職活動をせず公認会計士試験の勉強をしており、今回の試験に不合格だった場合、同級生が社会人になる中で勉強に専念しなければならなかったため、その不安から解放されとても安心しました。

会計士試験の勉強期間中の状況はいかがでしたか？

簿記を大学1年の4月から勉強し、約半年後の11月に日商簿記2級を取得、その後公認会計士試験の勉強を開始という流れでした。最初はサークルやアルバイトも並行していましたが、勉強のスケジュールと重なってしまうため断念し勉強に専念することにしました。また、澤井先生のゼミが週1度あり、試験の情報交換をしたりしていました。

公認会計士を目指した理由やきっかけについて教えてください。

私は中高時代、地元民の拠り所となる商業施設が相次いで閉店していく光景を目の当たりにして育ってきました。将来は振興の一助になれるよう地元で働きたいと考えていたのですが、自分にできることは限られているのではないかと不安に感じていました。そんな時に公認会計士という資格を知り、将来は地元の企業に対して公認会計士としてサービスの提供を行うことで地元の振興に貢献できるのではないかと考え、公認会計士を目指しました。

勉強方法などで工夫したことや苦労したこと、うまくいった方法などはありますか？

単純暗記ではなく、理解を中心とした勉強を心掛けました。単純暗記は論点を覚えてもすぐ忘れてしまいがちですが、意味や内容を深く理解することを心掛けることで暗記の効率が向上しました。また、プライベートと勉強を分けたかったため、勉強は予備校でのみ行い、家では全くしないようにしました。

合格した後にしたかったこと、それまで我慢していたことなどありますか？

大学時代は殆どが予備校と家を往復する生活であったため、友達が遊んでいる姿をSNSで見ても、合格後に絶対遊ぶぞと思っていました。まだ海外に行ったことがないので、繁忙期終わりにこれまでの自分へのご褒美に海外に行けたらいいなと考えています。また、これまで支えてくれていた両親に良いお店でご馳走したり、旅行に連れて行きたいです。

今後はどのような仕事をしてみたいですか？

公認会計士を目指したきっかけにも関連しますが、地元の振興に貢献できればと思っています。現在は勤務先の監査法人で、会計士を目指すきっかけを与えてくれた小売業の監査に従事しておりますが、業務や自発的な学習を通じ多様な経験を積み、振興を志すに相応しい人材になりたいと考えています。

昨年も澤井先生のゼミ生で合格された古岡さんにインタビューをさせていただきましたが、今回合格された大峯さんとは同級生とのことでした。同じゼミから多くの合格者を輩出されて、埼玉大学で公認会計士を目指す後輩の皆さんにも励みになっているかと思います。

あらためて合格おめでとうございます。今後のご活躍をお祈りいたします。

(取材：森山 謙一)